

しせいかい

新春号

vol.60
2012.1

医療法人社団志誠会



Contents

- 2012年新しい年によせて……………2
- サービス向上委員会……………3
- 就労訓練工場「しせいかい」～グリーンファーム～…………4
- 第19回敬老会●大正琴ボランティア●合唱ボランティア…………5
- 第34回家族教室●インターンシップ……………6
- ありんくりん、施設見学ボランティア……………7

ホームページアドレス <http://www5.ocn.ne.jp/~heiwahsp/>

二〇二二年 新しい年によせて

医療法人社団志誠会 理事長 小渡 敬



平成二十四年の新春を迎えるにあたり
皆様に謹んでお慶びを申し上げます。

昨年は長引く不況の中で、菅総理に対する内閣不信任案が国会に提出され政治が混迷している中で、3月11日に東日本大震災が発生し、東北地方の太平洋沿岸の多くの街が一瞬にして失われ、また多くの人命が失われると同時に、多くの方々が被災しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに被災地の一日も早い復興を願うものがあります。また、それにもなつて原子力発電所の事故が発生し、原発に対する国民の信頼を失いました。

そして、ギリシャの金融危機を引き金に世界中が不況にある中で、わが国はさらに円高に見舞われ経済の回復がますます困難になっております。また財政難に加え、高齢社会になり将来の年金や医療、雇用等の社会保障に対する国民の不安が高まる中、新たに総理に指名された野田総理は、平成27年までに消費税を10%まで引き上げる政策を打ち出し、ますます政治は混乱した一年でした。

精神医療分野では、精神疾患が国民病である4疾病4事業の中に組み込まれ、5疾病（癌、脳梗塞、糖尿病、心筋梗塞、精神疾患）4事業となり、本年より策定される地域医療計画の中に精神疾患も含まれることになりました。これにより、精神疾患に対する国民の偏見等が和らぎ、より早期に治療が行われるようになることに期待したいと思えます。

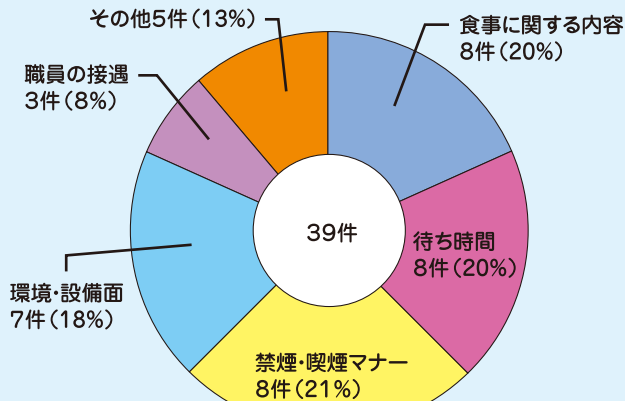
本年、平和病院は25周年を迎えることができました。これまで精神障がい者や高齢者の保健・医療・福祉を通して地域に貢献できるよう、職員一同努力してまいりました。これもひとえに地域のみなさまをはじめ、関係者のみなさまのご支援とご高配によるものとお礼を申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願いします。

より充実した医療サービスの提供へ ～サービス向上委員会～

当院のサービス向上委員会は、患者さんから意見・要望・苦情を収集し、サービスの向上と改善を推進することを目的として委員会を設立し活動を行っています。具体的な活動としては、各病棟・デイケアセンター・外来に設置している意見箱に寄せられたご意見を回収し、内容別に分類を行った上で関係部署へ改善を促し、また回答については受付前・売店横・デイケアセンターに掲示してお知らせしています。

【患者さん・ご家族から寄せられたご意見】

平成22年10月1日～平成23年9月30日までの1年間に寄せられたご意見の総数は、39件でした。内訳としては食事、禁煙・喫煙マナー、外来の待ち時間に関するものが各8件、設備・環境に関するものが7件、接遇に関するものが3件、その他5件でした。



寄せられたご意見 H22年10月～H23年9月

食事については、「味が薄い」「刺身を出してほしい」など嗜好的な内容が多く、外来待ち時間については苦情が多く寄せられており、改善策として予約制の導入を検討していきたいと考えています。接遇に関する苦情は減少傾向にありますが、今後も接遇に対する職員の意識向上に努めていきたいと思っています。

サービス向上委員会では、これまで多くの患者さんのご要望にお応えするよう活動してきましたが、これからも患者さん一人ひとりの声を大切にし、サービスの質の向上に取り組んでいきたいと思っています。

幸運を呼び込む～辰年～

今年は辰年です。干支の中でも唯一伝説の生き物で、古来中国では龍は瑞祥と言われ、権力者の象徴として扱われました。

前回の辰年は西暦 2000 年でミレニアムで世界中が賑わい、2000 円札が発行されたのもこの年でした。前々回（1988 年）まで遡ると青函トンネル開業、瀬戸大橋が開通し日本列島が繋がりました。

辰年生まれの特徴は正義感と信用、ロマンチストで、さらに「辰年の内なる自信」が幸運を呼び込むそうです。皆さんの元へも幸運が舞い込みますように。



設立理念

1. 当院は新しい精神医療を行うことを目的とする
2. 精神障害者及びその家族の立場に立ち可能な限り物心両面から援助を行う
3. 作業療法、レクリエーション等を再検討し真に社会復帰に結びつく療法を確立する
4. 地域精神医療を行う
5. 精神医学、精神医療の発展に結びつく研究を行う
6. 病院運営にあたっては一般企業並みの経営を行い医療は最新かつ高度なものとする

患者憲章

- 平和病院は、設立理念に則り、医療の中心は患者様のためにあることを深く認識し、一人ひとりの患者様に次のような権利と責務があることを宣言します。
- あなた様には尊厳とプライバシーの保護を受ける権利があります
 - あなた様には最良な医療を平等に受ける権利があります
 - あなた様には知る権利があります
 - あなた様には自己決定する権利があります
 - あなた様には責務があります

基本方針

1. 洗練された医療と、品格のある精神科病院にする
2. 精神科急性期医療の機能分化と専門治療
3. 精神科専門看護の研究と展開（急性期における精神科看護と慢性期における精神科看護の専門性）
4. 社会復帰に向けたチーム医療の研究と展開
5. 社会復帰に必要な精神科リハビリテーションの研究と実践
6. 精神医療の病診連携を確立する
7. ストレスケア外来およびストレスケア病棟の充実
8. 精神科専門医および認定医、精神保健指定医の養成と、初期研修医・後期研修医の教育の充実

就労訓練工場「しせいかい」 ～多機能型事業所～

農 耕 「グリーンファーム」

現在、就労訓練工場しせいかいの農耕「グリーンファーム」では、園芸療法士の新地 均さんが指導員として務めています。「園芸療法士って何？」という疑問を持った方も多いはず。今回はその疑問にお答えします。

A 園芸療法は、心や体に病や障害を持った人や高齢者などを対象に「園芸作業」、植物を世話することによって、治療やリハビリテーション、生活の質の向上を目指すことです。

園芸療法士はそのお手伝いをします。対象者を能力、障害、好みなどを含めた総合的な見地からよく理解して治療目的を定め、生きた植物を使って個人個人に合ったプログラムを作成し実践します。

Q 園芸療法って何ですか？
園芸療法士って何をする人ですか？



知っていますか？ 「コンパニオンプランツ」

農場の一部にマリーゴールドが植えられています。間違えたわけでも観賞用でもありません。これは『コンパニオンプランツ』という手法です。一緒に植えられているのは大根。大根を好む害虫はマリーゴールドが嫌いなので、マリーゴールドを植えることで農薬の量が激減。より安心・安全な商品が作られるという仕組みなのです。



次号では、農耕訓練を中心に、園芸療法を用いたリハビリの効果について聞いてみます。

Q 園芸療法士として、新地さんが現場で心掛けていることはありますか？

A 「園芸療法士」と構えることなく、自然な会話から、その人の体験や経験などを知ることが大切にしています。

そこから、どのような植物に関心を持てるかを考えて作業をしてもらうようにしています。

植物は生きているので、毎日の変化を感じることが出来るのが大きな特徴です。その変化を感じてもらえるように、変化に気づける声かけをしたり、植物を変えたりする工夫もしています。



Q 「グリーンファーム」では、従来の農耕訓練に加え、4月から軽石水耕栽培が開始になっていますが（広報しせいかい59号記載）、それぞれの特徴や違いは何ですか？

A 簡単に説明すると、従来の農耕訓練は「考える」、軽石水耕栽培は「集中力」をそれぞれ重視しているというところが特徴であり違いでもあります。

農耕訓練では全工程に携わってもらうようにしていますが、軽石水耕栽培は二つの作業に限定することと可能です。流れも複雑ではないので、始めて「グリーンファーム」での訓練へ参加する方には、軽石水耕栽培で集中力をつけてもらい、ステップアップとして農耕訓練へ変更するということもあります。

高齢者への敬愛、長寿の祝福を地域と共に

第19回陽光館敬老会

平成23年10月1日(土)、施設入所者及び地域の高齢者への敬愛と、長年にわたり社会の礎を築いてきたみなさんの長寿を祝福することを目的に第19回陽光館敬老会を開催しました。今年は台風の当たり年で、天候が心配されましたが、当日は天候にも恵まれ爽やかな秋風が吹く中、施設入所者とその家族、公的機関や地域の方々計503名の参加がありました。

先ず琉球舞踊家の平敷勇也さんによる「かぎやで風」で敬老会の幕を開け、うるま市島袋俊夫市長、うるま市社会福祉協議会名嘉山兼宏会長をはじめ、来賓の皆様から祝辞を頂きました。続いてうるま市老人クラブ連合会照屋林宏会長による乾杯のご発声がありました。

余興では「かたみ節」「鳩間節」、与勝中学・高校生による「肝高の阿麻和利」、上江洲区子供会による「獅子舞」が披露されました。また当日は琉球リハビリテーション学院学生7名、中部農林高等学校生徒33名、安慶名中学校生徒1名の計41名がボランティアとして、会場の設営準備から利用者への食事の配膳など敬老会の運営に協力して頂きました。参加者やご家族から「とても楽しかった」「お母さんの笑顔を久々にみました」と話され、恒例のカチャーシーで幕を閉じたあとも会場は終始笑顔で溢れていました。



大正琴ボランティア「虹の会」 奏でる音色、歌に合わせて

陽光館で定期的にボランティア活動を行っている団体の中に大正琴ボランティア「虹の会」(代表：田里眞喜子さん(うるま市))があります。「虹の会」は、10年前に大正琴サークルで知り合った仲間が、特別養護老人ホーム等でボランティア活動を始めたのをきっかけに結成されたそうです。陽光館でボランティア活動を始めて今年で3年以上が経過し、陽光館では、各生活棟、デイケア、グループホームあおば邸で、「肝かなさ節」「でんさー節」「芭蕉布」等の琉球民謡や島唄、「知床旅情」「古城」の歌謡曲まで、数十曲のレパートリーがあり、時には入所者のリクエストに応じて演奏することもあります。入所者からは「次は何時来るね」「この曲はできるかね」等の声が聞かれるほど、大変喜ばれ好評です。

代表者の田里さんは、施設でボランティア活動を行う理由は「自分自身、気が滅入っている時や元気がない時にボランティア活動を通して、高齢者の笑顔をみると私が皆さんから逆にパワーを頂きます」と話していました。陽光館以外にも、近隣の特別養護老人ホーム、宅老所、グループホーム等、老人福祉関係の施設で現在も幅広く活動を行っているそうです。



石嶺小学校合唱ボランティア おじいちゃん、おばあちゃんのために歌とダンスを披露

10月19日(土)、陽光館2階生活棟に入所されている金城サヨさんのひ孫の金城愛音さんが通っている那覇市の石嶺小学校の合唱ボランティアの生徒28名が来館されました。

愛音さんによると、「小学校で合唱ボランティアに所属しているので、おばあちゃんに自分たちの歌や踊りを披露したかった」と話し、日頃学校で取り組んでいる歌とダンスを披露しました。

入所者からは「可愛かったね」「また来てね」との声があり、可愛いらしい小学生の歌とダンスに入所者も笑顔がほころびました。

第34回

家族教室 開催

「精神科のあゆみ」について知ろう

平成23年11月12日(土)に「第34回 家族教室」が開催されました。

今回はこれまでの家族教室では取り上げて来なかった精神科の歴史を「精神科のあゆみ」と題し、宮城則孝副院長が講師を務めました。教室には18家族、21名が参加し、当日のポスターをみて参加したご家族もいらっしゃいました。

精神疾患が「霊や悪魔の仕業」と誤解されていた古い時代から現代までの歴史をたどりながら、精神疾患も今では薬で治療可能な病気であると説明がありました。現在ではさらに副作用が少なく治療がしやすい薬が多く開発されているので、寛解状態(症状が軽快し以前と同じ日常生活が可能な状態)まで回復する方が9割いるという統計を紹介し、副院長自身も治療に携わるなかで回復する方が多いことを実感していると話していました。そのため、他の病気と同様に精神疾患も「早期発見、早期治療」に結びつけることがとても大切だということを強調していました。

その後に家族交流会を予定していたのですが、時間が足りなくなり簡単な交流会になってしまいましたので次回は家族交流の時間を多くもち、ご家族の日頃の悩みを少しでも解消できる場にしていきたいと思います。



インターンシップを通して働くことの意義を実感!

今年も当社会復帰施設部にて、具志川東中学校から6名、与勝高校から5名、石川高校から2名の学生を迎えました。事前打ち合わせに始まり、当日は職員朝礼へも出席し、職場としての規律や雰囲気を感じていただきました。口々に「緊張しました」と表情も強ばっており不安なスタートとなったようですが、各工場では先輩方である訓練生に作業を丁寧に教えてもらったりと幾分緊張もほぐれた様子で、午後になると休憩室から楽しそうな話し声も聞かれるようになりました。

喫茶「ガーデンクレス」では、指導員の指示を受け、窓ガラスの掃除や出来たてパンの包装に励み、農場「グリーンファーム」では農作業や水耕栽培の収穫にチャレンジしてもらいました。また、パン工場「スターベーカリー」ではパンの香りに包まれながら生地を丸めたり、包装作業を行ったり、食品加工「オレンジワークス」では唐辛子のへたきり作業などコーレーグースの生産に携わりました。

「精神科に対するイメージが変わった」「働くことは大変」「工場で働いている方に優しく教えてもらった」など、それぞれが感じたことを言葉にしていました。中には将来看護師になりたい、と夢を描いている学生もあり、今回の職場体験を通して、少なからずイメージ作りの材料になれば、と期待します。

未来を担う若い世代に、働くことの意義を少しでも感じ取る機会になればと祈りつつ、また来年も楽しみにしたいところです。(写真：石川高校)



インターンシップとは?

近年、インターンシップと言う言葉を耳にすることが多くなりました。当法人においても学生のインターンシップを取り入れています。

Q. そもそもインターンシップとはどのような取り組みでしょう?

A. 学生が一定期間、企業や事業所などで実際に就業(仕事)の体験をすることです。

小学生は主に「職場見学」です。中学生は「職場体験」、高校生は「就業体験」、大学生は就職活動の一環として行われます。このように段階をふまえその内容や体験期間も変わり、実際の職場で実践的な知識や技術等に触れることにより、望ましい勤労観・職業観を身につけることを目的とした取り組みです。

Q. インターンシップの良いところは?

A. 学生の皆さんにとってはこの機会に、進路の選択や社会人としての基本となる言葉遣い、コミュニケーションの大切さ、社会人としての認識や就労意欲の向上、豊かな人間性等が培われます。もちろん学生だけではなく、受け入れる企業や事業所にとっても良い意味での緊張感や刺激となり、職員の意欲の向上や気づきに繋がります。またこのインターンシップを通して事業所が地域に拓かれそのPRや地域との連携・理解が深まることが期待されます。

この冬の

ありんくりん



永年勤続医療従事者表彰

沖縄県医師会から永年勤続医療従事者表彰

平成23年度永年勤続医療従事者として、沖縄県医師会から辺土名房子さんと安慶名一也さんが表彰されました。同表彰式は医療機関(県医師会会員)及び医師会に20年間勤務する医療従事者に対して行われるもので、今年は66施設240名が表彰されました。当法人主催の祝賀会で2人は20年を振り返り、「ここまで続けられたのも、周りのサポートがあったお陰だと感謝しています。」「こんなに時間が経ったとは思えない。」という話をしていました。また、理事長をはじめ祝賀会へ参加した職員から感謝の言葉とともに今後も後輩の育成に力を入れて欲しいと激励の言葉がありました。今後のさらなる活躍に期待しています。



安慶名さん、小渡院長、辺土名さん

防災避難訓練

火の元注意!「防災の日」訓練

当院では毎月第3火曜日を「防災の日」と設定し、各部署で火災や地震に応じた避難経路の確認や患者さんの護送手順など、防災対策の勉強会と実践に取り組んでいます。12月10日(土)には平和病院で職員、入院患者、通所者を対象に防災避難訓練を実施しました。厨房付近から出火したと想定し、火災ベルの鳴動と同時に職員が消火器を抱え出火場所に駆けつけ、初期消火訓練を行いました。また実際に消火器を使用して操作方法を体験しました。訓練には約300名が参加し安全な場所・院内グラウンドに避難しましたが、全体で避難時間が4分程かかり目標の3分には達しませんでした。当院は昨年敷地内全面禁煙を実施し煙草による火災の危険性は低くなったものの、火災や天災は思わぬ時に思わぬ場所で発生します。これからは火事の多い季節を迎えますので、皆さんも火の元には充分注意しましょう。



全国大会への推薦枠を獲得 ～沖縄精神科看護学会～

10月20、21日の両日、沖縄精神科看護学会が開催され、当院からも多くの看護師が参加し研鑽を深めました。今回は日本精神科看護技術協会の末安民生会長を講師に迎え「多職種チームとの実現と看護の役割」というテーマで基調講演を、「多職種チームでつなぐケア」というテーマでシンポジウムが催されました。研究発表の部では当院の山城綾乃主任が「効果的な認知行動療法の職員教育について」と題して論文を発表し、認知行動療法におけるコミュニケーションのあり方について関心を引き寄せる内容だったと思います。そして後日、全国大会への推薦枠を獲得するという吉報も届きました。今後もこれらの取り組みをさらに臨床の場に活かしていきたいと思います。

情報ポケット

～入局しました～

いまいづみ まさひこ

今泉 真彦 医師



「皆さん、初めまして。11月から約一年間、こちらでお世話になります今泉真彦です。大阪のさわ病院から来ました。まだまだ未熟者ですが、ご指導よろしくおねがいします。」

施設実習・見学・ボランティア〈10～12月〉2011

平和病院

★実習及び施設見学

- 10月 ■ 群星臨床研修医研修 1名
- 見学実習(北部看護専門学校) 43名
- 見学実習(北部看護専門学校) 40名
- 臨地実習(ぐしかわ看護専門学校) 8名
- 11月 ■ 群星院臨床研修医研修 1名
- 統合実習(北部看護専門学校) 6名
- 12月 ■ 臨地実習(北部看護専門学校) 13名

社会復帰施設

★実習及び施設見学

- 10月 ■ 看護実習(県立看護大学)1グループ 6名
- 看護実習(県立看護大学)2グループ 6名
- 貝志川東中学校インターンシップ 6名
- 11月 ■ 看護実習(県立看護大学)3グループ 6名
- 看護実習(県立看護大学)4グループ 6名
- 与勝高等学校インターンシップ 5名
- 石川高等学校インターンシップ 2名

陽光館

★実習及び施設見学

- 10月 ■ 特別支援高等学校施設実習 3名

★ボランティア

- 10月 ■ めだかの会 14名
- 大正琴ボランティア虹の会 4名
- 敬老会学生ボランティア (計41名)
- 琉球リハビリテーション学院学生 7名
- 中部農林高等学校生徒 33名
- 安慶名中学校生徒 1名
- 11月 ■ めだかの会 13名
- 大正琴ボランティア虹の会 4名
- 12月 ■ めだかの会 14名
- 大正琴ボランティア虹の会 4名



精神科・心療内科・内科

平和病院

病床数：212床（内 指定病床17床）

- ☐ 急性期治療病棟 ☐ ストレスケア病棟 ☐ 精神療養病棟 ☐ 精神科訪問看護
☐ 精神科デイケア ☐ 精神科デイ・ナイトケア ☐ 精神科ナイト・ケア

受付/午前8:30～11:00 午後1:00～3:00 日・祝祭日は休診（木曜は新患受付行っておりません。）
TEL.098-973-2000 ●総合医療相談室へお気軽にご相談下さい。



介護老人保健施設

陽光館

入所定員：140床（認知症専門棟40床）

- ☐ 介護老人保健施設陽光館入所 ☐ デイケアセンター陽光館 ☐ ホームヘルプサービスセンター陽光館
☐ 居宅介護支援事業所陽光館 ☐ 短期入所療養施設陽光館
☐ 認知症グループホームあおば邸 ☐ うるま市高齢者相談センター具志川ひがし

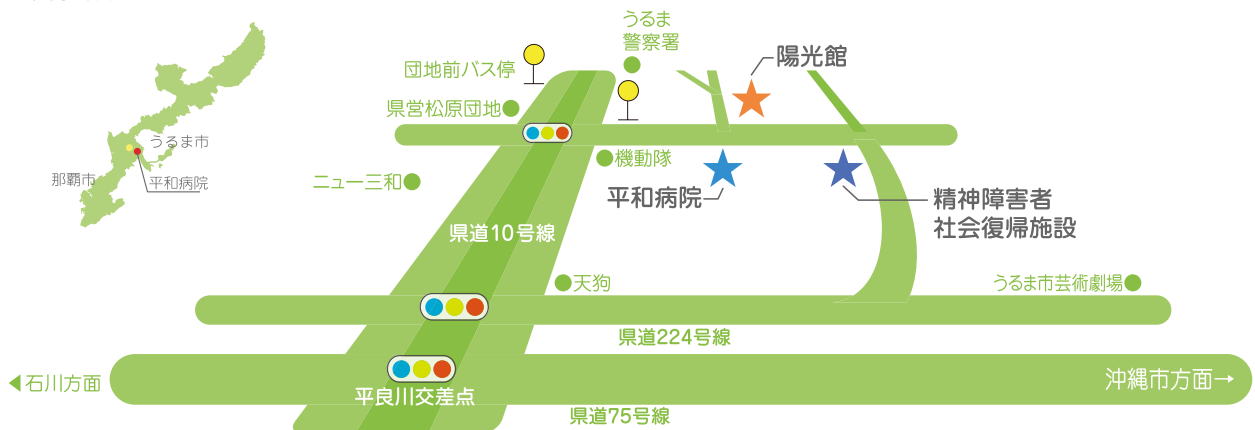
受付/午前8:30～12:00 午後1:00～5:00 木・日・祝祭日は休館
TEL.098-974-4000 ●入所・ショートステイ・デイケアなどお気軽にご相談下さい。



精神障害者社会復帰施設

- ☐ 桜邸（生活訓練施設） ☐ 瑞穂邸（福祉ホームB）
☐ 一葉邸・二葉邸・小桜邸・キャンプグリーンヒル（グループホーム）
☐ 就労訓練工場しせいがい（多機能型）（就労移行支援・就労継続支援B）

各施設へのアクセス



編集後記

新年 あけましておめでとうございます。本年も宜しく願い申し上げます。

昨年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は不幸にして未曾有の大被害をもたらしました。メディアから流れる映像のどれも映画のシーンを見ているようで現実を理解するまでに暫く時間を要したという人は多いと思います。早い復興を心からお祈り申し上げます。

昨年末に京都の清水寺で平成 23 年の世相を反映する漢字一文字が発表されました。震災関連の一文字になるのではないかという大方の予想を翻し「絆」が決定しました。東日本大震災、紀伊半島の豪雨で改めて家族や仲間との絆の大切さや、ワールドカップで優勝したなでしこジャパンのチームワーク等が理由に挙げたそうです。地域コミュニティの崩壊、隣人への無関心、家族関係の希薄等が言われている中で、昨年の世相を表す「絆」は、人としての原点への回帰と未来に向けた熱いメッセージが込められた一文字だと思います。

さて「一年の計は元旦にあり」は有名な言葉ですが、年頭にいろいろ目標を掲げていると思います。しかし継続するのは大変難しいもので、いざ実行しようと思っても、明日から・・・来月から・・・とついつい延び延びとなり、気付けば半年、ついには年末を迎えてしまったという経験をおもちではないでしょうか。私もその1人ですが、来年「辰」年も、更なる飛躍の年になるよう「一日の計は早朝にあり」をこつこつと実践し「一月の計は一日（ついたち）にあり」を積み重ね、年末には「一年の計は元旦にあり」と自信をもって言えるような年になりたいと思います。

（伊藝正）